

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 29 年版(初版)』
に関するお詫びと訂正のご案内

『乙種 1・2・3・5・6 類 危険物取扱者試験 平成 29 年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。
よろしくお願い申し上げます。

初 版

P56	訂正	<p>5. 塩素酸カルシウム $\text{Ca}(\text{ClO}_3)_2$</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="352 1016 512 1061">形状</td> <td data-bbox="512 1016 1251 1061">▪ 無色または白色の結晶</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1061 512 1285" rowspan="4">性質</td> <td data-bbox="512 1061 1251 1106">比重 2.7</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1106 1251 1151">融点 325℃</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1151 1251 1196">▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1196 1251 1285">▪ 水溶液からは 76℃以下で二水和物、76℃以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100℃で溶解する。 融解</td> </tr> </tbody> </table>	形状	▪ 無色または白色の結晶	性質	比重 2.7	融点 325℃	▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。	▪ 水溶液からは 76℃以下で二水和物、76℃以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100℃で溶解する。 融解
形状	▪ 無色または白色の結晶								
性質	比重 2.7								
	融点 325℃								
	▪ 水によく溶ける。 ▪ 潮解性がある。								
	▪ 水溶液からは 76℃以下で二水和物、76℃以上で無水物が析出。 ▪ 二水和物は急激に加熱すると、100℃で溶解する。 融解								
P72	訂正	<p>2. 臭素酸ナトリウム NaBrO_3</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="352 1404 512 1449">形状</td> <td data-bbox="512 1404 1251 1449">▪ 無色または白色の結晶性粉末</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1449 512 1673" rowspan="4">性質</td> <td data-bbox="512 1449 1251 1494">比重 3.3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1494 1251 1538">融点 381℃</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1538 1251 1606">▪ 水によく溶け、エタノール、メタノールにも溶ける。 エタノールにはほとんど溶けない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1606 1251 1673">▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。</td> </tr> </tbody> </table>	形状	▪ 無色または白色の結晶性粉末	性質	比重 3.3	融点 381℃	▪ 水によく溶け、 エタノール、メタノールにも溶ける。 エタノールにはほとんど溶けない。	▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。
形状	▪ 無色または白色の結晶性粉末								
性質	比重 3.3								
	融点 381℃								
	▪ 水によく溶け、 エタノール、メタノールにも溶ける。 エタノールにはほとんど溶けない。								
	▪ 不燃性で、強力な酸化剤である。 ▪ 加熱すると、臭化ナトリウム NaBr と酸素に分解する。								
P196	訂正	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="344 1756 708 1800">貯蔵の注意</th> <th data-bbox="708 1756 1270 1800">主な物品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="344 1823 708 1935">▪ フタに通気孔のある容器に貯蔵</td> <td data-bbox="708 1823 1270 1935">メチルエチルケトンパーオキシド（エチルメチルケトンパーオキシド）、 アゾビスイソブチロニトリル</td> </tr> </tbody> </table>	貯蔵の注意	主な物品名	▪ フタに通気孔のある容器に貯蔵	メチルエチルケトンパーオキシド（エチルメチルケトンパーオキシド）、 アゾビスイソブチロニトリル			
貯蔵の注意	主な物品名								
▪ フタに通気孔のある容器に貯蔵	メチルエチルケトンパーオキシド（エチルメチルケトンパーオキシド）、 アゾビスイソブチロニトリル								

P199 【2】	誤	<p>【2】 解答「2」(B・Eが誤り)</p> <p>B. メチルエチルケトンパーオキサイドは、密閉すると内圧が上昇して分解が促進されるため、通気孔のあるフタ付きの容器やガス抜き口のある容器を使用する。しかし、過酸化ベンゾイル(C₆H₅CO)₂O₂のように密栓して貯蔵・取り扱うものもある。</p> <p>E. ニトロセルロースのように分解しやすい危険物は、断熱性の良い(高い)容器に入れて貯蔵してはならない。分解に伴う熱が蓄積しないよう通気性のある容器に貯蔵する。</p>		
	正	<p>【2】 解答「2」(B・Eが誤り)</p> <p>B. メチルエチルケトンパーオキサイドは、密閉すると内圧が上昇して分解が促進されるため、通気孔のあるフタ付きの容器やガス抜き口のある容器を使用する。しかし、過酸化ベンゾイル(C₆H₅CO)₂O₂のように密栓して貯蔵・取り扱うものもある。</p> <p>E. 特に分解しやすい危険物は、断熱性の良い(高い)容器に入れて貯蔵してはならない。分解に伴う熱が蓄積しないよう通気性のある容器に貯蔵する。</p>		
P228	誤	<p>1. アゾビスイソブチロニトリル [(CH₃)₂CN]₂N₂ (AIBN)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">貯蔵・取扱い</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスなどが発生するため、容器は密封しない。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。 </td> </tr> </table>	貯蔵・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスなどが発生するため、容器は密封しない。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。
	貯蔵・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスなどが発生するため、容器は密封しない。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。 		
正	<p>1. アゾビスイソブチロニトリル [(CH₃)₂CN]₂N₂ (AIBN)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">貯蔵・取扱い</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスや有毒ガスなどが発生するため、容器は密封する。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。 </td> </tr> </table>	貯蔵・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスや有毒ガスなどが発生するため、容器は密封する。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。 	
貯蔵・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 分解すると窒素ガスや有毒ガスなどが発生するため、容器は密封する。フタに通気孔があるものを使用する。 ▪ 火気及び日光を避け、換気の良い冷暗所で貯蔵する。 			